

リーディングDXスクール事業【実践事例】

東京都渋谷区立代々木山谷小学校

【取組内容】 学び方の選択 個別学習と協働的な学習

「自分の学びやすい方法」の選択

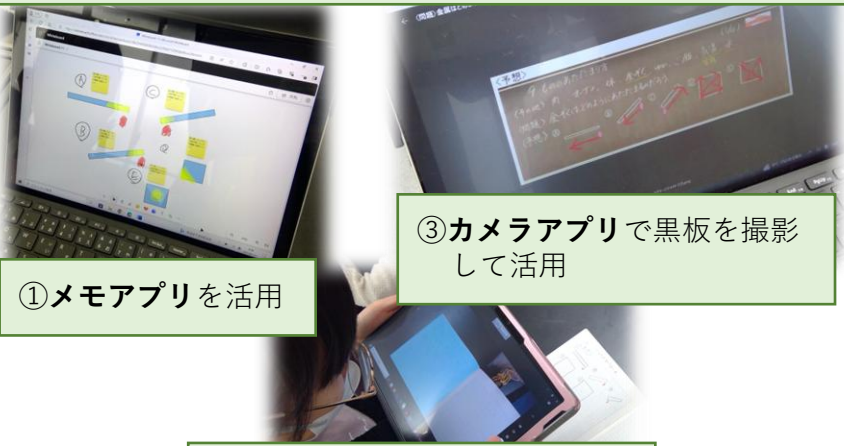
自分の考えを伝えるときに、

全ての児童を対象に、自分に合った学び方を選択して学習を進めた。

- ① メモアプリ を活用して、作図等描き表してから共有する。
- ② ノートに書いたことを カメラアプリ で撮影してから共有する。
- ③ 教師の板書を カメラアプリ で撮影し、画像に考えを記入してから共有する。

これ以外にも、学習のまとめや作品作り等で、「デジタルノートアプリ」、「文書作成アプリ」、「プレゼンテーションアプリ」、「デジタル教科書」等を活用している。

低中学年では、それぞれのよさを確認しながら使い、高学年になると自分の学習しやすいツールを自らが選択し、学習を進めた。



①メモアプリを活用

③カメラアプリで黒板を撮影して活用

②ノートとカメラアプリを活用

情報共有アプリやクラウドで共有し、協働的に学びを深める

〈問題〉水はどのようにあたまのたまるのだろう。

〈予想〉

温めたところから順に温まっていくと思う。なぜなら、金属は温めたところから順に温まっていくという結果だったから。

👍 5

温めた場所からあたまのたまる理由は金属もそうだったから

👍 4

金属と同じ順番に熱が伝わっていく。

👍 2 🌟 2

〈予想〉温めたところから順に熱が伝わって温まっていくと思う。 根拠 金属がそうだったから

👍

全学級を対象に、学級共有のチャットツールを活用し、自分の考えを投稿している。

何を書いてよいか分からない児童も、友達の考えを参考にすることで、考えを書いたり、よりよい考えに深化させたりした。また、発言が苦手な児童も自分の考えを伝えられるという効果もあった。

友達の考えに共感したり、納得したりした内容には「いいね」、「笑顔」スタンプを押して意思表示をしている。

スタンプを押してもらえたことで、自分の考えを認められたと感じ、学習に対してより主体的に取り組めるようになる児童も見られるようになった。